

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	紛争により避難と帰還を繰り返してきた東部帰還民の生計が回復し、自立を取り戻すことで、平和の定着に貢献する。
(2) 事業内容	<p>本事業は、パティカロア県内で 2006 年から 2007 年の紛争により国内避難民となった人々が帰還した地域のうち、キラン郡、パディッパライ郡、ウェラウエリ郡の 7 地区で、十分な復興支援を受けられず、所得が低い（月収 800～1200 ルピー）帰還民を対象に、以下の支援を通して農業収入を安定、向上させ、自立して生活を営めるよう支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業給水支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 農業用井戸 31 基の建設 (2) 給水ポンプおよび配水ホースの供与 2. 井戸管理委員会の立ち上げと同委員会に対する研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織強化のためのワークショップ (2) 野菜の種と多年生植物の苗供与 <p>進捗については以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業給水支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 農業用井戸 31 基の建設 <ul style="list-style-type: none"> ・対象村の選定 <p>事業対象地区（キラン郡クドムビーマーレ地区、パディッパライ郡パニチャイヤディムンマーリ地区、クルビナーマドゥ地区、マーワディムンマーリ地区、ウェラウエリ郡シンナワッタイ地区、カンティプラム地区、パラヤディウエッタイ地区）にて 3 月 12 日から 4 月 5 日に調査を実施し、対象村 13 箇所を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益者選定 <p>対象予定となった各村にて「受益者選定委員会」を結成するため、住民への事業説明を実施した。最終的な受益者は井戸掘削後の湧水量調査結果を確認する必要があるため、事業後期に確定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者選定 <p>地質調査業者や掘削機材レンタル業者との交渉を経て、5 月初旬に契約を締結した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質検査 <p>ウェラウエリ郡では 5 月 14～15 日に、パディッパライ郡では 5 月 30～31 日に実施した。キラン郡については契約業者の作業遅延が発生したため、地質検査を行わずに掘削作業へ移行した。弊団体ではキラン郡での活動経験があり、地質状態について十分な情報を持っていたため、このように判断した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掘削 5月14日より掘削を開始した。7月末現在、31箇所中、20箇所での掘削が完了している。掘削中に塩分を含んだ水が検出された箇所、岩盤の影響で掘り進められない箇所があるため、掘削待ちの箇所が11存在する。 ・ 水量検査 7月末現在、掘削した井戸のうち、18箇所水量検査を完了した。 ・ 石工 5月30日より順次作業を開始し、7月末現在11基の井戸で石工作業が完了した。 ・ 井戸建設最終工程 7月19日より開始し、7月末現在、10井戸が完成した。 <p>(2) 給水ポンプおよび配水ホースの供与 納入業者を選定し、近日中に購入契約を結ぶ予定。</p> <p>2. 井戸管理委員会の立ち上げと同委員会に対する研修</p> <p>(1) 組織強化のためのワークショップ 7月末までに20の井戸管理委員会が形成され、13の委員会に対して第1回目のワークショップを実施した。(全3回を予定)</p> <p>(2) 野菜の種と多年生植物の苗供与 業者選定と購入契約が、予定より2週間ほど遅れている。5月19日に対象地のひとつである、キラン郡アイリアオーダイ村にて象の襲撃が発生したため、井戸数を確定できず、掘削作業を進められていない箇所がある。したがって種苗種類の決定に至っていない。</p>
(3) 達成された効果	<p>7月31日までに10基の井戸が完成した。</p> <p>清掃が完了しておらず、農業用井戸としてはまだ使用されていないが、既に地域住民の生活用水として利用されている。井戸を共有する住民(1基につき8世帯、約40人)のみならず、井戸建設完了を待つ近隣住民や一般の通行人にも裨益している。</p>
(4) 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き作業を継続し、未掘削箇所での作業を早急に開始する。 ● 10月の雨季に備え、進捗速度を上げるために石工作業グループの増加や掘削機材の増加を検討している。 ● キラン郡アイリアオーダイ村での修復井戸数を早急に確定し、種苗種類を決定する。